

賛否の分かれた議案

○賛成、×反対

議案番号	真政会				古河市公明党				古河維新の会			市政同志会			政研・市民ベースの会					無党派					
	黒川輝男	鈴木隆	園部増治	赤坂育男	渡辺松男	高橋秀彰	佐藤稔	轟見久美子	増田悟	倉持健一	山腰進	稲葉貴大	渡邊澄夫	小森谷英雄	佐藤泉	並木寛	生沼繁	大島信夫	秋山政明	阿久津佳子	長浜音一	秋庭繁	落合康之	四本博文	
議案第 130 号	○				○				×	—	○	○			欠	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第 131 号	○				○				×	—	○	○			欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※ 議長は表決に加わらないため「—」と表示。

※ 欠席議員は「欠」と表示。



主な議案の概要と質疑

財産の取得について

指名競争入札により、ノートパソコンを購入します。

問 指名業者のうち、市内に本社がある業者は何社あるか。

答 指名業者 11 社のうち、1 社である。

問 指名業者 11 社のうち、8 社が辞退した理由は。

答 仕様を満たす製品の調達が不可能、海外の自然災害によりノートパソコン CPU 供給不足、納期限までに納入することが不確実、などが辞退理由である。

仁連地区道路改良・下水道・造成工事請負契約締結について

一般競争入札により、3 億 7,709 万 2,800 円（税込）で契約を締結します。

問 2 社失格とあるが、失格基準の価格はいくらか。

答 最低制限価格は、3 億 4,867 万円（税抜）である。

問 低入札価格調査制度を採用している自治体もあるが、古河市ではどうか。

答 低入札価格調査制度<sup>※1</sup>、最低制限価格制度<sup>※2</sup>はともに地方自治法にうたわれており、本市でも入札方法によりいずれかの制度を採用している。

※1 低入札価格調査制度…「調査基準価格」を下回る入札があった場合に、調査した上で落札者を決定する制度

※2 最低制限価格制度…「最低制限価格」を下回る入札があった場合にその入札者を失格とする制度

古河市障害者住宅整備資金貸付条例の廃止について

障害者住宅整備資金貸付事業の終了に伴い条例を廃止します。

問 金融機関からの借り入れが厳しい昨今、条例を残しても良いのでは。

答 金利や返済期間等、借り手の負担が大きく平成 8 年以降利用が無い現状であるため廃止する。

問 利用が無いのであれば、利用しやすい運用を考えては。

答 今後は、時代に合った条例を再考し、必要に応じ代替策を検討して対応していきたい。

問 金融機関からの借り入れをする際、市から補助金などの助成制度を検討してはいかがか。

答 要望があれば検討していきたい。

